

2.19 ハンガリー

2.19.1 概要²¹⁴

人口は971万人（2018年）、面積は約9.3万平方キロメートルで日本の約4分の1である²¹⁵。耕作地の約7割がブダペスト以東に位置する。中央部から南東部は穀倉地帯となっており、飼料用とうもろこしの生産地域付近には養豚農家が集中している。主要農産物は、とうもろこし、小麦、ひまわり種、牛乳、豚肉等である。

高品質な農産物の生産に重点を置き、2004年に国家遺産に指定された豚であるマンガリッツァ等のブランド農産物やオーガニック農産物を重視している。特有の認証制度「フンガリクム」を導入し、自国産農産物の中でも差別化による付加価値をつけている。遺伝子組み換え農産物の栽培を禁止しており、自国農産物の強みの一つとしている。



1経営体当たり平均経営面積は10.9ha（2016年）であり、5ha未満の農家が約8割を占める。²¹⁶国内総生産に占める農林水産業の比率は2.1%（日本は1.1%）である。

農林水産業の地位（2018年） 単位：億USドル、%

	ハンガリー		日本	
	名目額	比率	名目額	比率
国内総生産（GDP）	1,579	100.0	49,713	100.0
うち農林水産業	56	3.6	564	1.1

資料：国連統計

日本との農林水産物貿易をみると、日本からハンガリーへの輸出額が10万USドルであるのに対し、ハンガリーから日本への輸入額は約780万USドルである（2019年）。日本の輸出上位品目は緑茶、木製品、種等であり、ハンガリーからの輸入上位品目は羽毛・羽毛皮、砂糖菓子、天然はちみつである。

²¹⁴ ハンガリーの農林水産概況 農林水産省 2020

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kaigai_nogyo/attach/pdf/index-177.pdf

²¹⁵ 外務省「ハンガリー（Hungary）基礎データ」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/hungary/data.html#section1>

²¹⁶ EU「EU country factsheets, Statistical Factsheet Hungary」

https://ec.europa.eu/info/sites/info/files/food-farming-fisheries/farming/documents/agri-statistical-factsheet-hu_en.pdf

農林水産物貿易概況（2019 年） 単位：百万 US ドル

	輸出 (日本→ハンガリー)	輸入 (ハンガリー→日本)	日本の収支
総額	1,698	929	769
農林水産物	0.1	78	▲78
農林水産物のシェア	0.0	8.4	-

資料：財務省貿易統計

農林水産物貿易上位 5 品目（2019 年）

輸出：日本→ハンガリー（単位：千 US ドル%） 輸入：ハンガリー→日本（単位：千 US ドル%）

品目名	輸出額	シェア	品目名	輸入額	シェア
緑茶	19	21.6	羽毛・羽毛皮	22,822	29.4
その他の木製品 (衣類用ハンガーを除く)	6	7.0	砂糖菓子	9,153	11.8
播種用の種等	5	5.7	天然はちみつ	8,052	10.4
—			冷凍野菜(スイート コーン類)	1,903	2.4
—			アルコール飲料	1,220	1.6
総額	86	100.0	総額	77,715	100.0

資料：財務省貿易統計

原産地呼称保護（PDO）は、ハンガリー語で Oltalom alatt álló eredetmegjelölés、地理的表示保護（PGI）は Oltalom alatt álló földrajzi jelzés と表記する。ハンガリーの農産物・食品の GI 取得状況は、PDO 8 件、PGI 10 件、合計 18 件（2020 年 12 月末時点登録済）である。品目別にみると、PDO は果物・野菜・穀類、スパイス等（パプリカパウダー等）が多く、PGI は肉製品、果物・野菜・穀類が多い。

品目別 GI 登録件数

品目	PDO	PGI
Class 1.1. 肉	-	1
Class 1.2. 肉製品	1	3
Class 1.3. チーズ	-	1
Class 1.6. 果物、野菜、穀類	3	3
Class 1.7. 水産物	1	1
Class 1.8. その他（スパイス等）	3	-
Class 2.13. 花き、観葉植物	-	1
総数	8	10

EU eAmbrosia データベース、2020 年 12 月末時点登録済



ハンガリー南部カロチャの
パプリカパウダー（PDO）
Kalocsai Fűszerpaprika-
Őrlemény



ハンガリー北東部トカイ地方の
トカイワイン
Tokaji



ハンガリー南東部ジュラ地方の
ソーセージ（PGI）
Gyulai Kólbász

2.19.2 GI 監視スキーム

ハンガリーでは農業省（FM）および農業省管轄下のフードチェーン安全局（NÉBIH）が GI に関する政策を所掌する。

中央政府

機関名	住所	連絡先
農業省 (Földművelésügyi Minisztérium : FM)	Kossuth Lajos tér 11 1055 Budapest	Tel. +36 17952137 Fax. +36 17950200 Email: sajto@fm.gov.hu
フードチェーン安全局 (Nemzeti Élelmiszer- biztonsági Hivatal : NÉBIH)	Keleti Károly utca 24 H-1024 Budapest	Tel. +36 13369000 Fax. +36 13369479 Email: elnokititkarsag@nebih.gov.hu; Website: http://portal.nebih.gov.hu/

EUIPO (2017)²¹⁷

GI 監視当局は、NÉBIH であり、県（megyei）あるいはその下位の自治体（district）の検査機関とともに監視を行う。NÉBIH は農産物・食品、ワイン、スピリッツ等 GI のすべての品目、サプライチェーン全体を監視対象とする。

GI 監視当局（EU 規則 No.1151/2012 第 38 条に基づく）

機関名	住所	連絡先
フードチェーン安全局 (Nemzeti Élelmiszer- biztonsági Hivatal : NÉBIH)	Keleti Károly utca 24 H-1024 Budapest	Tel. +36 13369000 Fax. +36 13369479 Email: elnokititkarsag@nebih.gov.hu Website: http://portal.nebih.gov.hu/

欧州委員会ウェブサイト（2020 年 11 月現在）²¹⁸

市場監視は、NÉBIH の統括の下、農産物・食品は自治体、ワインについては県が担当している。NÉBIH と地方自治体は定期的に会議を持ち情報を共有している。外国産品の違反は、国内で最初に保管されていた県に通報され、国内で最初に取り扱った事業者において検査される。e-commerce の監視は、今は一般的ではないものの将来的に実施を計画している。他の EU 加盟国とも EU Food Fraud Network を通じて連携しており、窓口は NÉBIH の優先案件局（the Directorate for Priority Cases）である²¹⁹。

²¹⁷ EUIPO (2017) Protection and control of geographical indications for agricultural products in the EU member states. Annex, Guide for public authorities and economic operators.

²¹⁸ https://ec.europa.eu/info/sites/info/files/food-farming-fisheries/food_safety_and_quality/documents/national-competent-authorities-food-sector_en.pdf

²¹⁹ 2020 年 9 月現在 https://ec.europa.eu/food/sites/food/files/safety/docs/food-fraud_contact_points.pdf

2.19.3 侵害の事例

ハンガリーでは、他国の GI 製品の侵害に関する事例は見当たらなかったが、自国の特産 GI ワインを巡って長い間争われている。

「トカイワイン」問題

ハンガリーのトカイ (Tokaji) 地方は古くからデザートワイン「Tokay/Tocai」の生産地として知られていた。しかし類似の名称のワインは、フランス (Tokay d'Alsace 等)、イタリア (Tocai Friulano 等)、スロベニア、スロバキアでも以前から生産されていた。

1959 年、ハンガリーは「Tokay/Tocai」の利用権利を申し立て、イタリアに対して法的手続きを開始したが、裁判所は消費者の混乱はないとして、イタリア、ハンガリーともに名称の利用が可能と判断した。

2004 年、ハンガリーの EU 加盟に先立ち、ハンガリーが「Tokay/Tocai」の占有権を持つとの合意がなされた。イタリアはこれに反対して欧州司法裁判所に提訴。2005 年欧州司法裁判所は、トカイはハンガリーの地名であり、イタリアのトカイは地名ではないとして、2007 年 4 月以降、ハンガリーに名称の占有権があると判断した。

これ以降、トカイを連想させる類似したスペルも含め、ハンガリー以外の国ではトカイの名称は使用禁止となった。現在、フランス、イタリア、スロベニアの生産者はかつての「トカイ」ワインを別の名称で販売している。

この例外がスロバキアである。ハンガリーのトカイ地方と国境を接するスロバキアは、歴史的にハンガリー領であった時代が長く、地理的にも土壌や気候の特徴から、ハンガリーと同じトカイワインが生産できる環境があった。両国は長年協議を重ね、2004 年 6 月、国境から 5.65K m²内のスロバキア領土で生産されるワインを「トカイワイン」として認定する合意がなされていた。

しかし、実際にはトカイワインのルールを遵守しているかどうかのチェック体制はできていなかった。そこで 2012 年 11 月、ハンガリーは欧州裁判所に EU の GI ワインを網羅する電子データベース「E-バックス」からスロバキアのワイン「Vinohradnícka oblasť Tokaj」を登録抹消するよう訴えるも敗訴。2013 年 12 月に控訴するも却下された。

(<https://www.winespectator.com/articles/italys-friuli-region-loses-tocai-name-3243>
https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/en/CJE_14_17)

2.19.4 対抗手段

食品に関する違反の疑いがある場合、NÉBIH のフリーダイヤル（green number 06-80/263-244.）やモバイルアプリ「nébih navigator」から通報が可能である。購入場所の詳細、製品名、購入日、生産者の詳細等の情報を提供する。もともと食品安全のための通報スキームであるが、GI 関連の苦情にも対応する。通報を受けた当局は事案を調査する義務があり、調査結果は通報者に通知される。ただし通報者が匿名の場合、当局の調査は義務ではない。

違反の重要度に応じて警告、製品の製造や流通の制約、GI 名称の使用の禁止、違反の公表、製品のリコール、罰金が科される。市販品の違反が検査中に発見された場合も罰金が適用される。

刑事手続きは、監視当局あるいは国税庁 National Tax and Customs Authority (Nemzeti Adó- és Vámhivatal : NAV)により開始される。知的財産権の侵害は禁固 2 年未満、商業的な規模の場合には禁固 1 年から 5 年未満である。詐称（counterfeiting）は禁固 1 年未満だが、価値の高い製品の場合には禁固 3 年未満。

民事手続きは、正当な生産者が侵害を疑う場合、まず違反者に警告状を送付し、侵害をやめるよう求める。民法に基づく損害賠償請求も可能であり、ブタペスト首都圏裁判所、ブタペスト首都圏控訴裁判所で審議される。

～GIを守るために～

侵害の通報窓口

ハンガリーにおけるGI侵害の窓口は、フードチェーン安全局（Nemzeti Élelmiszer-biztonsági Hivatal:NÉBIH）

Tel（Green Number）.06-80/263-244

連絡方法

通報専用電話（Green Number）あるいは iOS/Android 対応のモバイルアプリ「nébih navigator」

保護のしくみ

フードチェーン安全局は、地方自治体の検査官とともに、通報の内容を調査。違反を発見したら行政措置を執行。

2.19.5 関連法令

ハンガリーの GI 関連法令は以下の通りである。なお、法令の名称は欧州知的財産庁の報告書²²⁰に基づいている。

GI 根拠法令・

- Act XI of 1997 on the Protection of Trade Marks and Geographical Indications
(※民事手続きを含む)

刑事手続きを規定する法律

- Act C of 2012 on Criminal Code (※産業財産権の侵害、競合の模倣)

2.19.6 その他の関連制度

EU の伝統的特産物 (Traditional Speciality Guaranteed : TSG) は、ハンガリーでは 2 件が登録されている。

品目別 TSG 登録件数

品目	TSG
Class 1.3. チーズ	1
Class 2.24. パン、菓子類	1
総数	2

EU eAmbrosia データベース、2020 年 12 月末時点登録済

食品の品質を認証する国内制度はいくつか存在する。KMÉ ラベル制度は、安全で高品質、食味に優れ、かつ洗練されたパッケージを持つ食品を NÉBIH が評価する制度である。²²¹ ゴールドとベーシックの 2 種類があり、申請された中から NÉBIH がゴールドを選抜するしくみである。

また、2012 年に成立したハンガリー国家の価値とハンガリクム (Hungarikum) 法により、ハンガリーとして優れた価値を持つモノ・コトをハンガリクムとして委員会が認定する制度が開始された。²²² 対象は食品のほか、文化、自然、スポーツ、産業等幅広いが、認定されている 76 件のうち、食品が 25 件であり、GI 食品はすべて含まれている。ロゴもあるが、現地情報によると、ハンガリー人であれば知っていて当然のモノやコトであるため、小売製品にそのロゴを見ることはないそうである。

²²⁰ EUIPO (2017) Protection and control of geographical indications for agricultural products in the EU member states 及び Annex, Guide for public authorities and economic operators.

²²¹ <https://portal.nebih.gov.hu/termekmustra>
<https://kme.hu/>

²²² <http://www.hungarikum.hu/en>